








資料1 単元名「正負の数」学習過程（2時間分）

段階	学習活動・内容	学習形態	時間	教師の支援・
課題把握	1. 期末テストの確認をする 定一・間違い直しをする。	一斉 	10	○期末テストの答え間違いところにつせる。
	2. 課題を把握する。 自分のつまずいているところに気づき、克服しよう。	個別 	25	○期末テストの結果のつまずきを知り、マイコース学習によることを知らせる。
	3. 自己診断をする。	評価 	5	○加・減・乗・除の算、乗除の混じったの混じった計算で見つけさせる。
	4. 自己課題を設定する。	個別 	5	○コース分けについて生徒にコースの選択
	5. コースの選択をする。	個別 	5	
課題	6. 課題の確認をする。	一斉 	5	○自己課題をプリントする。
	7. コース別に学習に取り組む。	個別 	40	○各コースにおいてながら、質問に対応
Aコース (小野)		Bコース (山崎)	Cコース	

資料2 自己診断カード(基礎・基本確認票) 正負の数

1年( )組( )

小単元	時数	月日	基礎的事項の確認
正負の数	3時間		正の数、負の数の意味がわかったか
			正負の数の使いかたがわかったか
			正負の数を数直線上に表すことができたか
			正負の数の大小関係がわかったか
加法	3時間		絶対値の意味がわかったか
			正負の数の加法の計算のしかたがわかったか
			正負の数の加法において交換、結合り立つ事がわかったか
減法	3時間		正負の数の加法の計算ができるようになったか
			正負の数の減法の計算のしかたがわかったか
加法と減法の混じった計算	3時間		正負の数の減法の計算ができるようになったか
			加法、減法の混じった式を加法だけおすことができたか
練習	2時間		かっこのつかない式になおし計算できたか
			正負の数の加法、減法が混じった計算
乗法	3時間		正負の数の乗法の計算のしかたがわかったか
			正負の数の乗法の計算ができるようになったか
			正負の数の乗法において交換、結合り立つ事がわかったか
			正負の数の逆数を求めることができたか

- ③
- 授業外周辺部の整備
    - ア 家庭学習の手引きの作成・活用
      - ① 自主的に学習が進められるようにするため、家庭学習のすすめかた・各教科の具体的な学習方法を載せた「家庭学習の手引き」を作成して活用を図った。

- 段階に応じた練習問題を作成した。
  - 一時間一時間の授業を大切に、配慮が必要な生徒、質問のある生徒などの支援に努めた。
  - 基礎・基本を明らかにするために、系統表を作成した。
  - 系統表をもとに単元全体の指導計画案(教師側)を立て、さらに、一単位時間の基礎・基本確認票(生徒側)を作成した。
  - 基礎・基本票を用いて、毎時間のまとめの時間に本時の基礎的、基本的事項を確認させるとともに、生徒の確認状況を点検した。
  - 段階に応じた練習問題を作成した。
- ① 放課後の追指導及び数学検定への挑戦と補習
- ウ 個別計算力テストの実施
- エ 自主的に学習に取り組むための練習問題の準備
- 成果と課題
- ① ④ 成果
- ア T・Tの導入により多様な学習形態を工夫することができた。
- イ 各教科においても、基礎学力を向上させようという意識が高まってきた。
- ② 課題
- ア コース選択が適切にできない生徒に対するきめ細かな配慮
- イ 追指導の時間の確保
- ③ 白河市としての成果と課題
- ① ⑥ 成果
- ① ① 教員の意識改革と資質向上
- ② ① 小・中・高校教員相互の授業参観と協議による共通理解
- ③ ③ 授業の質の改善
- ④ ③ 授業外周辺部の見直しと効果的な取り組み
- ⑤ ⑤ 校長のリーダーシップの発揮と、各先生方への指導・援助
- ② ② 課題
- ① ① 授業へのT・Tの積極的導入
- ② ② 児童生徒の自己評価能力の育成
- ③ ③ 授業周辺部の活用の工夫と意欲的な取り組み